十四編下

十四編上

十四編上

むかしまなぶ源氏小ぶろ物語

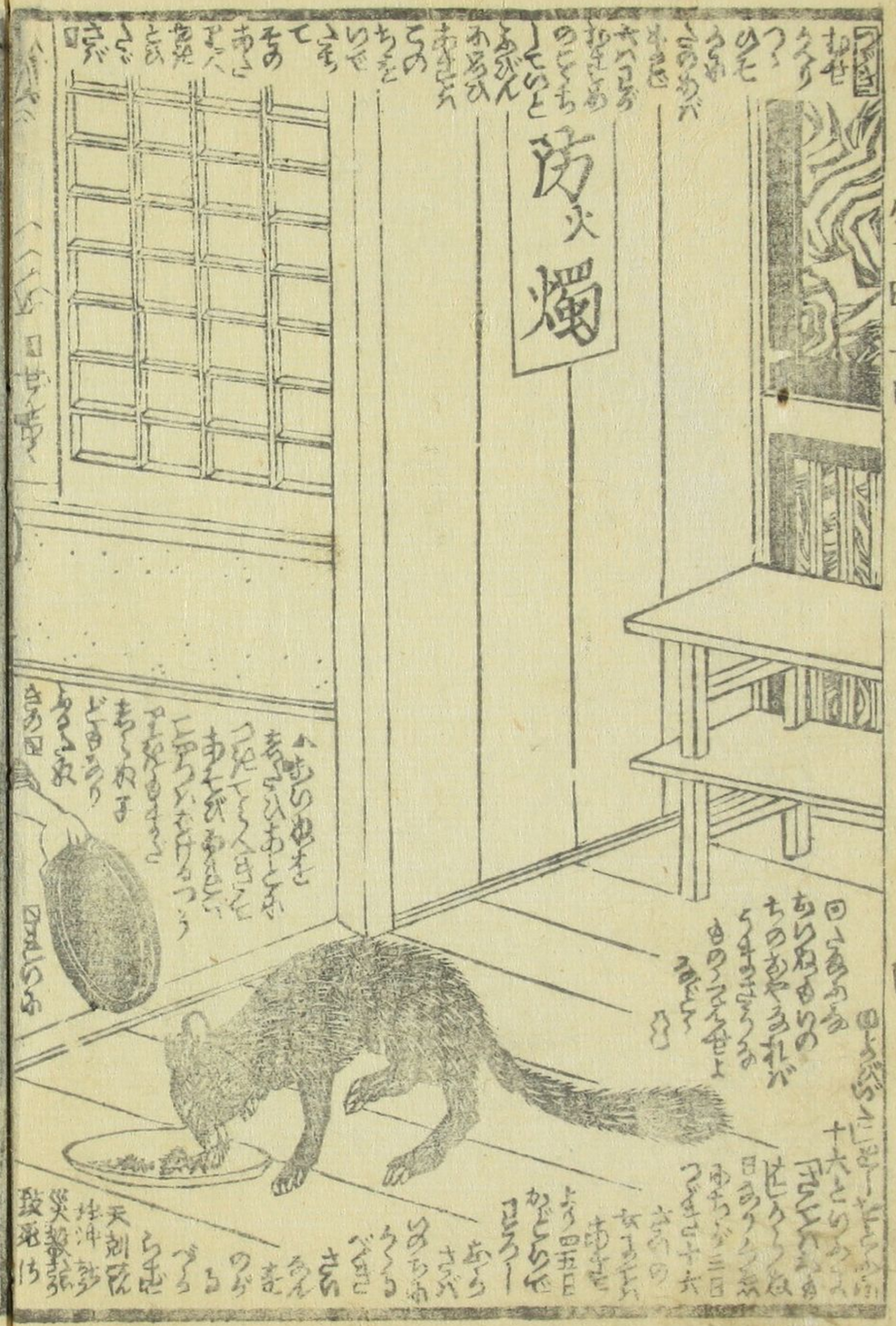
十四帖上

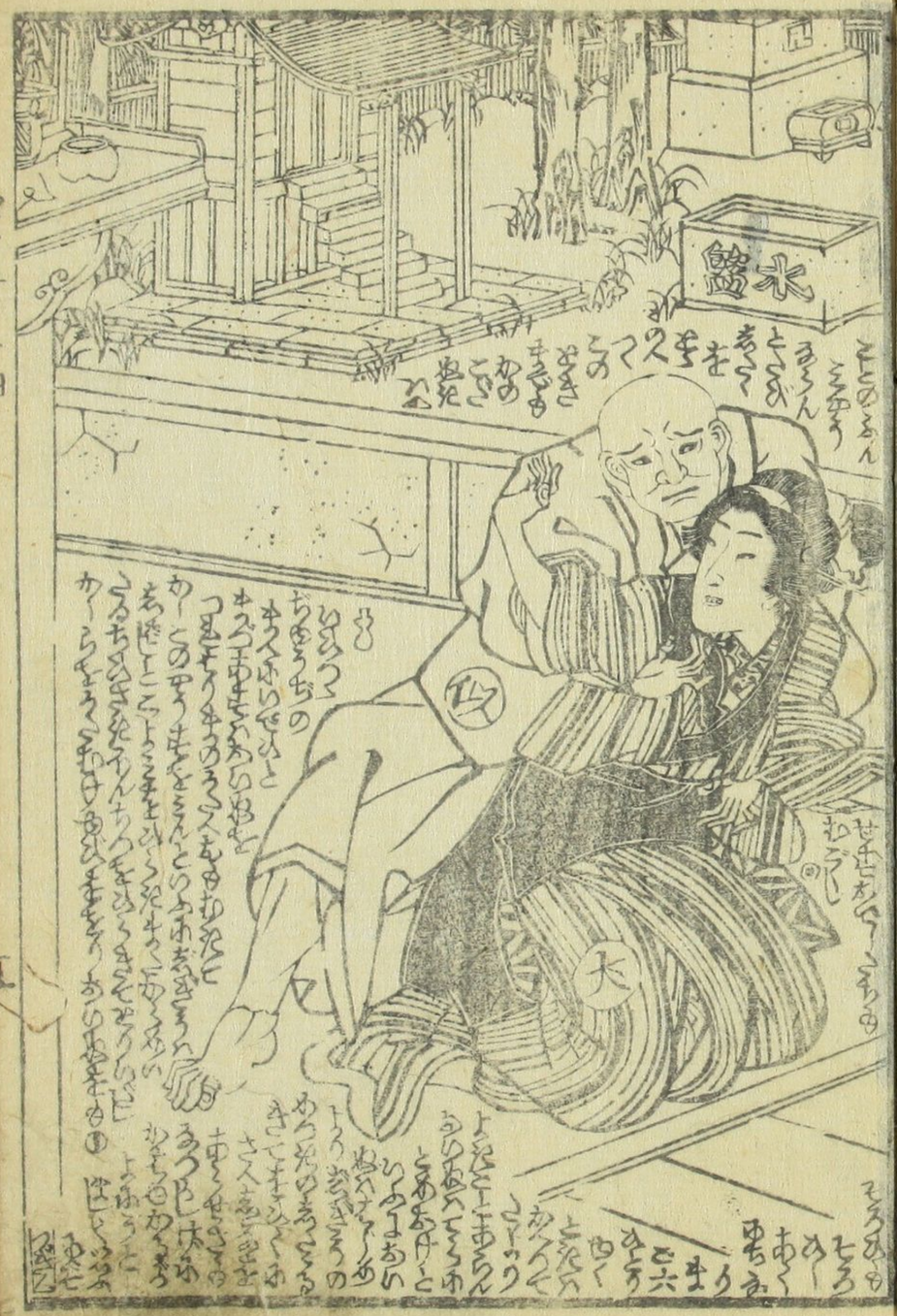
古き物語ハ巻物多くしてまづ源氏ハ最初より綴本なれども幾巻とハ称ハ五十四帖と云則ハ巻物なるゆゑ支明く若菜の巻ものゆゑねど何の巻と云ハ上下有てなれも紙員百枚ばかり然らと思へば箒火関屋ハ僅ふ四片五片く長短比べ〻参ぬ目先と異なる才女ぶ新案巻物ゆゑハ積と成て見苦しく帖とせるゆゑ東海道の宿次ふ笛根八里の長丁場あれバ五井赤坂ハ半里ふ〻ぬる源氏の御世ふありての制ゆゑとなるかくゆゑ長譚ハ其一段の長きふ過て飽りのみなを廣沼信濃ぶ父への話四五十丁胡蝶秋津ぶ不〻く出ぬとなる人ゆゑ〻ゆゑ〻ゆゑ〻十五編より後々ハ短き丁場も形容かへさせ箒火の一林ハ人ゆゑも二人の話を挾ゆゑ

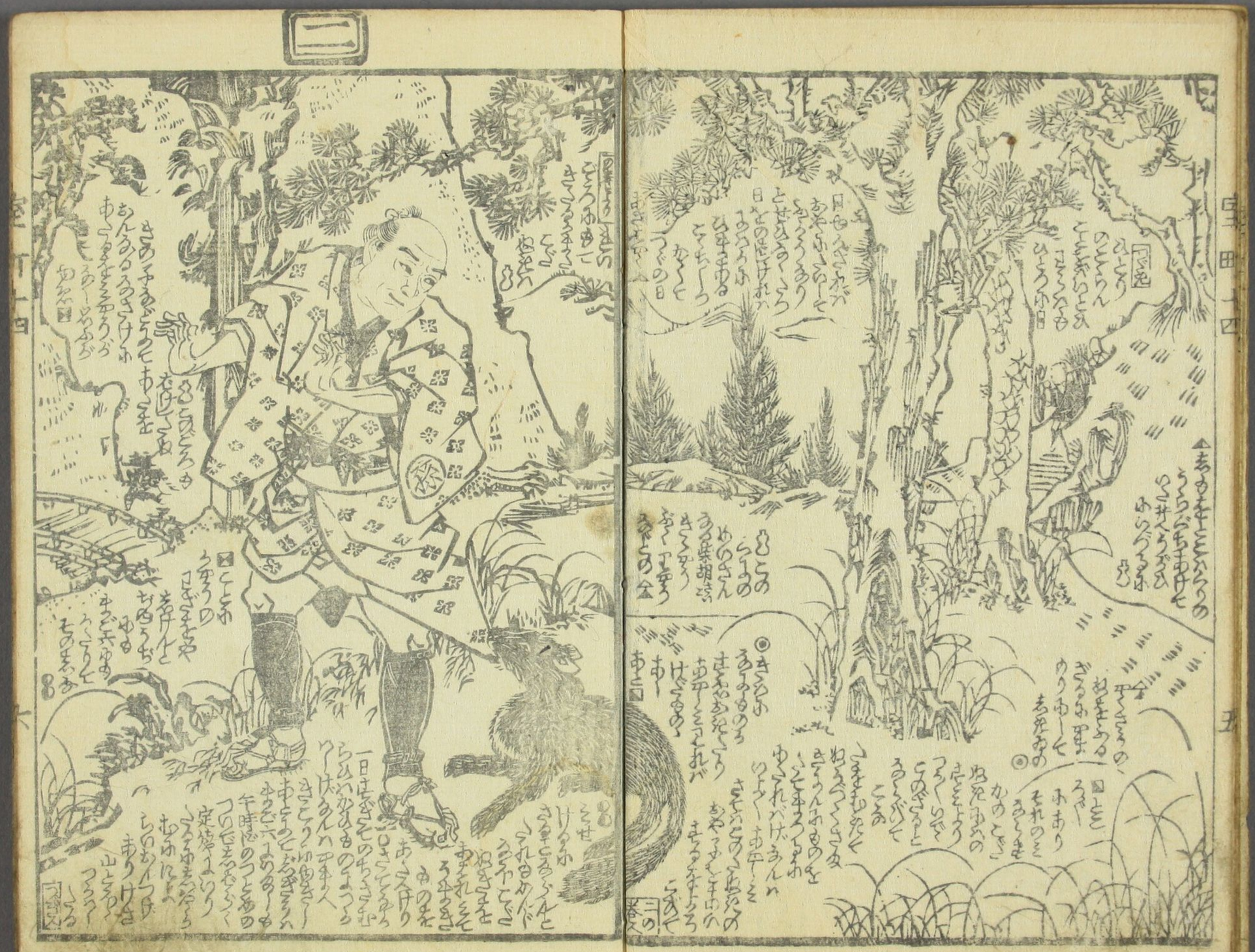
柳亭種彦

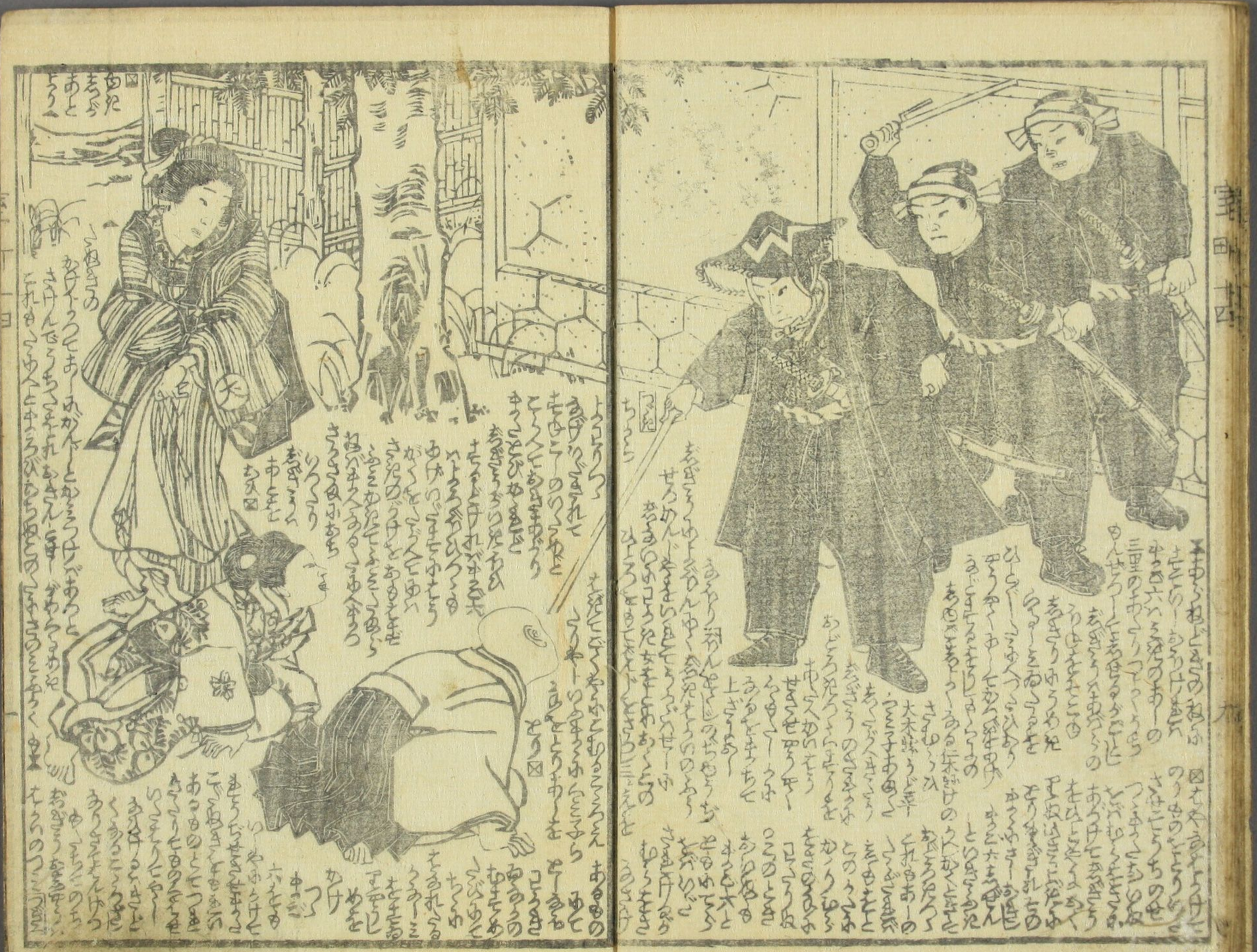
眞の花園姫漸々
猛く形ら子細へ
十八九編ゝ到ると分明

防火燭









才家
實母散

私方実母さんの秘方にて年来賣弘メまして効能ハ
内ものゝ人引うんの十効ありてふれ歩行ハ
中播南傳馬町　一葉堂手輔製

鼠祠通夜譚　四編　八編

柳亭種彦作
梅蝶樓國貞画

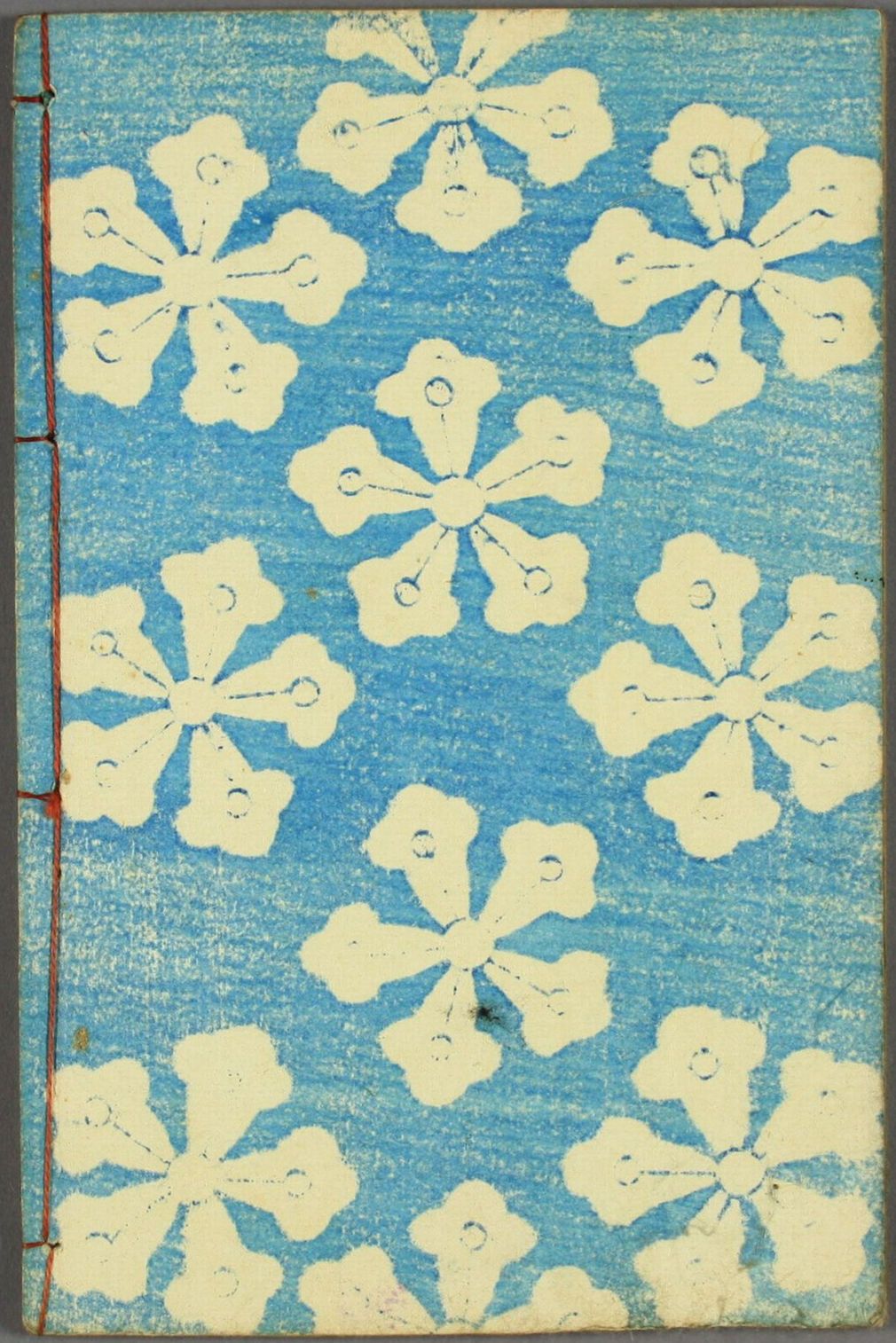
厚化粧萬年嶋田

春秋亭
追々出板

梅蝶樓國貞画

春水作

這ハ世ハ音く沙汰せうゝ姐己阿百ゞ傳あゝて是ハ和尚奥の惡靈
貢縁芦田の家ハ仇敵ゝとも夏ハ忠臣孝女ありて涙ゝ妻手ハ苦
あとゝとゝる表ハ表ゝて花ゆう形る甘く理の性こう草文紙ハ



十四ノ篇下

小傑巻

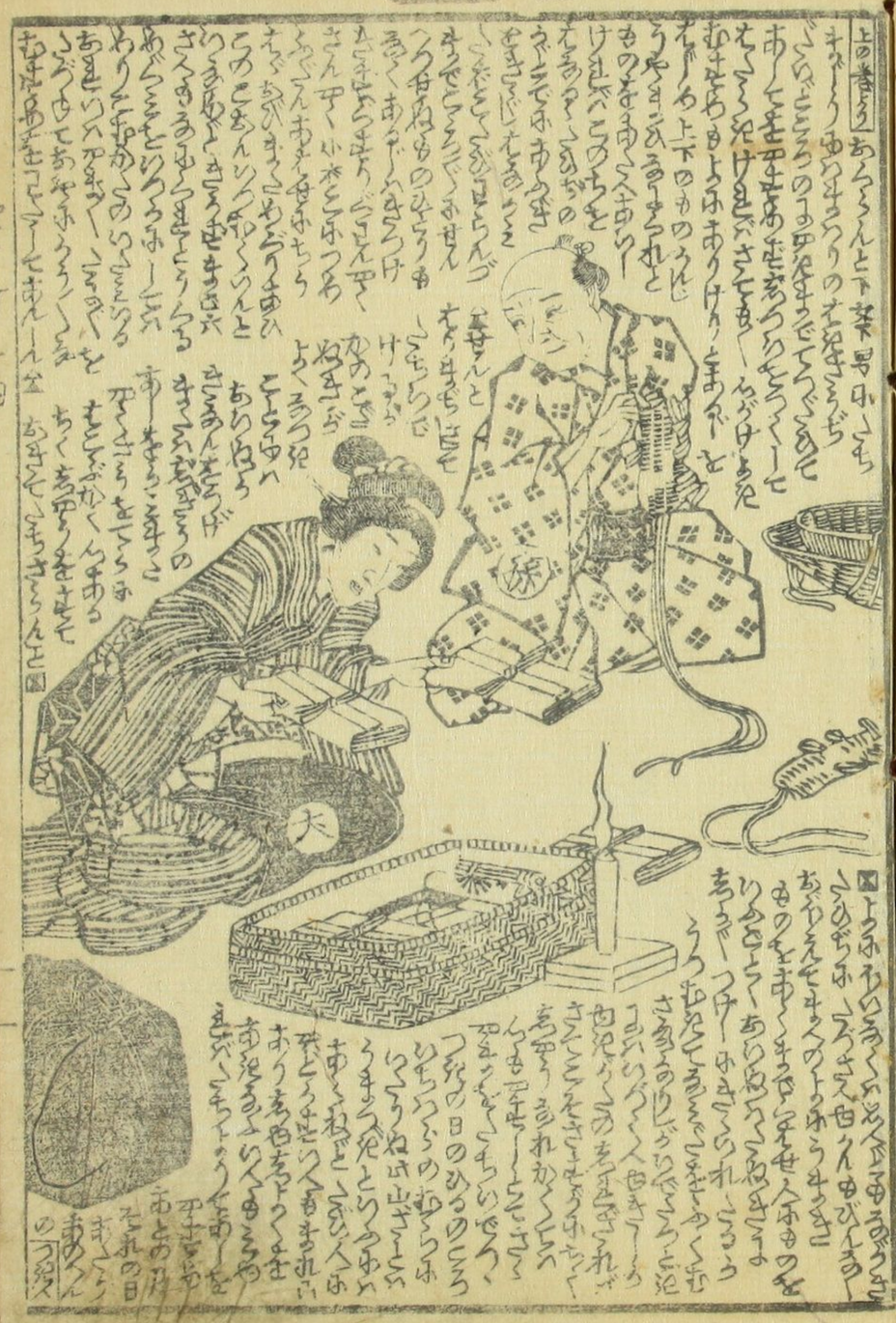
十四ノ下

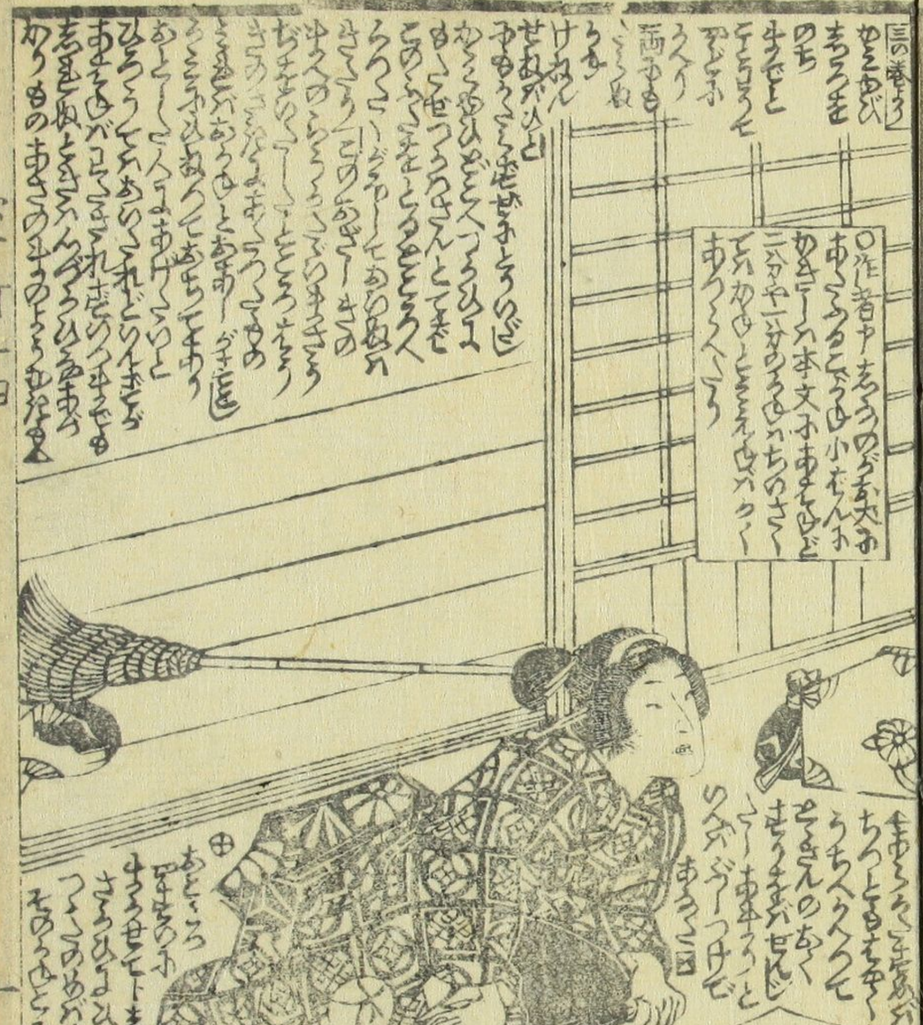
稚考作

国貞画

元麗文庫
浜田文庫

上の巻より





之餘慶
柚
柚

種彦著　國貞画

慶應四年戊辰陽春開板標目

新局九尾傳　七編より　爲永春水作
十一編まで　梅蝶樓國貞画

室町源氏胡蝶卷　十三編　種彦作　十四編　十五編　國貞画

假名讀誌意哇倉　四編　山泉作　大尾　國貞画

童謡妙々車　廿二編　種彦作　廿三編　廿四編　國貞画

薄化粧幻日記　十七編　春水作　十八編　十九編　國貞画

七ゝ草飾譚　九編　種彦作　十編　十一編　國貞画

筆法四國聞書　十一編　種彦作　十二編　十三編　國貞画

明鴉墨画迦福福　十四編　種彦作　十五編　國貞画

花封茗玉章　十編　種彦作　大尾　國貞画

犬傳犬の双紙　四十九編　柳亭録　五十編　五十一編　國貞画

南傳馬町壹丁目
鳥屋七右衛門